

未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていこう

さんか
SANKA!



VOL.
543

令和4年11月22日発行



「働きがいを実感できる環境づくり」を
ともに追求していこう!

INDEX

- 02 中央執行委員長あいさつ
- 03 第53回定期中央大会開催報告
- 04 第1号議案 2023年度活動方針
- 06 ご来賓挨拶
- 07 第6号議案 第20回統一地方選挙必勝決議
- 08 第7号議案 功労者表彰
- 09 退任役員あいさつ
- 10 第3号議案 2023年度中央役員選出
- 第4号議案 上部団体役員の就任
- 第5号議案 参与の任命
- 11 ゾーン議長からのメッセージ
- 12 パンプキントラベル・個人旅行サービス終了のお知らせ

第53回定期中央大会開催報告



ISMとはIS主義であり全ては商売の原点です。
I=挨拶(あいさつ)「挨拶」は、相手に心をひらくこと。「挨拶」は相手に近づくこと=礼儀
S=躰(しつけ)自分の身を美しく見せるという意味。自身を愛すること=自信
M=身嗜み(みだしなみ)容姿・服装・言葉遣い・態度を正すこと=心掛

パンプキントラベル・個人旅行サービス
終了のお知らせ

パンプキン事業の一環として、組合員の皆さんにご利用いただいていた「パンプキントラベル・個人旅行サービス」は、2022年10月31日(月)をもちましてサービスを終了いたしました。昨今の旅行需要の変化に際し、新たなサービスメニューの検討を推し進めていく中での判断となりました。1999年より23年にわたり組合員の皆様には、ご愛顧賜り誠に有難うございました。

2022年10月31日(月)をもって終了となる内容について

- ・パンプキントラベル・個人旅行サービス
※国内、海外パッケージツアー、航空券、JR券等 旅行業務全般)のご予約、ならびに販売。
- ・パンプキントラベル組合員特別割引
- ・パンプキントラベル旅行券
- ・支部イベント・交流会の企画提案ならびに手配

(変更後)

上記に伴い、IYプレミアムメンバーサービスの7つある会員サービスのうち「パンプキンサービス」は2022年10月31日(月)をもって終了となりました。

「パンプキントラベル・個人旅行サービス」終了に関する お問い合わせ窓口
電話03-6238-3939(パンプキンダイヤル)
※10月31日以降も対応しております



会社一致・労使一和で、将来に繋がる「満たされた井戸」を共に創りあげよう!

イトーヨーカドー労働組合 中央執行委員長 渡邊 健志



第53回 定期中央大会

◆議案事項

- ◆第1号議案 2023年度活動方針
- ◆第2号議案 2023年度予算およびパンククラブ予算
- ◆第3号議案 2023年度中央役員選出
- ◆第4号議案 上部団体役員の就任
- ◆第5号議案 参与の任命
- ◆第6号議案 第20回統一地方選挙必勝決議
- ◆第7号議案 功労者表彰



固定観念から脱却し、お客様視点の 商売で持続可能な成長を

今、企業の存在意義を意味するパーパスに基軸を置いた「パーパス経営」が次世代の経営モデルとして注目されています。パーパスとは「存在意義=志」であり、企業内部から湧き出てくる強い思いこそが「価値ある存在意義」になると考えています。今の時代の企業経営理念は「パーパス(志)・ドリーム(夢)・ビリーフ(信念)」にシフトチェンジしてきており、この内発的な動機が変化に対応していくためには欠かせません。グループの「社是」である、お客様、社会・株主、全社員に「誠実」でなくてはならないという「ビリーフ(信念)」を社員一人ひとりが自分事として強く胸に刻むことの重要性に気づき実践することが何よりも重要です。これら会社全体から湧き出てくる強い思いと行動が「IYパーパス(IYの存在意義)」と言えます。

企業再建に向けた改革は、これまでの仕事の仕方や考えを大きく変えることが必要です。この改革には「固定観念からの脱却」が求められます。そして欠かせないのは「人の力」であり、労使が為すべきことを為し、その上で「現場力向上」に取り組むことだと考えています。「組織は人なり」、この原点に立ち返った時に何をすべきか。組織が人の結合体である以上、コミュニケーションの充実化を追求し続けなければなりません。「労使は写し鏡である」と言われます。IY労使が「良い写し鏡」となるよう対話の充実を図り、持続可能な成長と発展を目指していきたいと思えます。

私たち小売業、グループを取り巻く環境は、ここ直近1年間だけで見ても、大きく変化・変動しています。この環境変化に拍車を掛けているのが「コロナ禍」であり、国内においての「人口減少・少子高齢化」です。この大きな変化を乗り越えていくには明確な「短期的・中長期的・永続的」方針・戦略を持って対応することが必要であり、そのすべてが現在、取り組んでいる「お客様軸」でなくてはなりません。何より必要なの

は、今まで当たり前のこととして、それぞれが持っていた「固定観念」から全社員が脱却し、全社一致で改革に建設的に臨んでいくことです。「問題を先送りせず」、常に「現場ファースト」の姿勢を持ち、改善行為を継続していく、「諦めない・やり抜く」ことが最も肝要です。この姿勢を維持・継続していけるよう、労使協議の機会や労使協働での活動を通じて取り組んでいきたいと思えます。

商売の原点は「お客様」であり、私たちIYの理念は伊藤名誉会長の「信頼と誠実」と鈴木名誉顧問の「変化への対応と基本の徹底」にあります。そして、組合活動の原点は「支部や組合員」にあり、その基本は「涸れた井戸から水は汲めない」にあります。このIY労使それぞれが持つ基本姿勢は、私たちが存続する限り不変です。

今は、IYの緊急事態です。だからこそ「会社一致」「労使一和」で、直面する社難に対峙しなければなりません。「労使一和」とは、労働組合と会社経営が協働し、経営体制の再建強化を図ることを指し、その最良の手段が「労使協議」であり労働組合としての「経営参画」です。今期も労働組合という組織のリーダーである中央執行委員や支部執行委員長とは、しっかりと「経営の厳しさや危機感を共有」しつつ「どうあるべきか」という議論を行っていきます。一方、組合員へは「安心感や充実感とともに楽しさ」を実感してもらえるような活動や、労使協働の取り組みに挑戦していきたいと思えます。組合員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



議長団紹介 今大会の議長団を務めていただきました



大会議長 上尾駅前支部
中森 純子

大会議長という貴重な役割を経験させていただき、ありがとうございました。支部でのコミュニケーションを活発に行い、今後も支部一丸となって、より良い会社をつくっていきます。



大会副議長 川崎港町支部
角田 元気

定期中央大会で初めて大会副議長という大役を務めさせていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。この経験を大いに生かし、今後もより良い職場環境をつくっていききたいと思います。



大会書記 八尾支部
田村 紗英子

今回、大会書記という大役を務めさせていただき、ありがとうございました。今後も支部役員と協力しながら、支部一丸となって活動に取り組んでいきたいと思えます。

2023年度 活動スローガン

未来思考の対話を通じて、 より良い未来を創っていこう



中央執行書記長兼中央会計 竹内 宏子

先行きの見通しが見えない「不確実性の時代」が続く中、私たちイトーヨーカ堂においても、変化を正しく捉えスピード感のある対応が求められます。また、スピード感を持った「変化への対応力」に加え、IYが創業以来こだわりをもって大切にしてきた「基本」に立ち返り、それを徹底することでIYの基盤を強化していかなければなりません。働く私たち一人ひとりが「何のために」「誰のために」という視点を見失うことなく、取り組みを継続していくことが最も大切です。

先行きが不透明な不確実性の時代に求められる「協議や対話」の在り方は、

目指す共通目的のもと、それぞれが自分の立場や責任を適切に捉えながら、
考え方の協力により未来思考に立って協議や対話を行うこと

このことをあらゆる場で意識することで、問題の本質を追求し、双方の合意形成を高めることのできる質の高い対話になり、労働組合の組織機能の発揮にも繋がっていくと考えます。

労働組合が過去から大切にしてきた「涸れた井戸からは水は汲めない」という基本的な考え方を全組合員が一にして、未来思考の対話を通じてより良い未来を共に創っていきましょう。

2023年度の活動を推進していく基本姿勢

イトーヨーカドー労働組合が目指す中長期的に実現したい姿「一支部一組合の確立」に繋がる真の強い組織基盤づくりに向けて、組合員の参加・参画のもと、これら3つを心掛けて活動に取り組んでいきます。

- 組織に活力を創出させ成長や発展を促す「魅力や価値を生み出す活動」
- 改善行為や組織堅持に繋がる「問題意識を持った活動」
- 課題の本質や現場の実態を正しく認識する「組合員に近づく活動」



「IY VISION 2025」4つの挑戦における重点取り組み事項





UAゼンセン東京都支部
あべまつ
次長 精松 賢一様

第53回定期中央大会が、盛大に開催されることをUAゼンセンの185万人の仲間を代表し、心からお祝いを申し上げます。また、日頃から各都道府県支部でご活躍いただいていることをこの場を借りて感謝申し上げます。

今年7月の参議院議員選挙において、UAゼンセン組織内議員である「かわいたかのり」が3期目の当選を果たすことができました。これは長引くコロナ禍で組合活動もままならない中、組合役員の皆様を中心となり、支持拡大にご尽力いただいたおかげだと思っております。また、UAゼンセン東京都支部では、小池百合子東京都知事に対し、新型コロナウイルス感染症の感染対策を、1つの団体としては異例の計14回要請いたしました。これは、私たちの組織内議員が「政治の場」における重要なポストに就いているからであり、私たち働く仲間の政策実現のためには、国政と地方自治の両輪をまわしていかなければなりません。2023年4月の第20回統一地方選挙においても、引き続き、ご協力をお願いいたします。

現在、ロシアのウクライナ侵攻、原油価格や原材料費の高騰、円安等による物価上昇など、国内外にさまざまな課題が山積しています。私たち組合員がさらなる知恵を出し合い、経営への提案を通じて企業を守り、私たちの生活維持向上につなげていくため、2023年3月の総合労働条件闘争では、同一労働同一賃金の実現に向けて、労使でけん引役を果たしていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

株式会社イトーヨーカ堂
代表取締役社長 山本 哲也 様

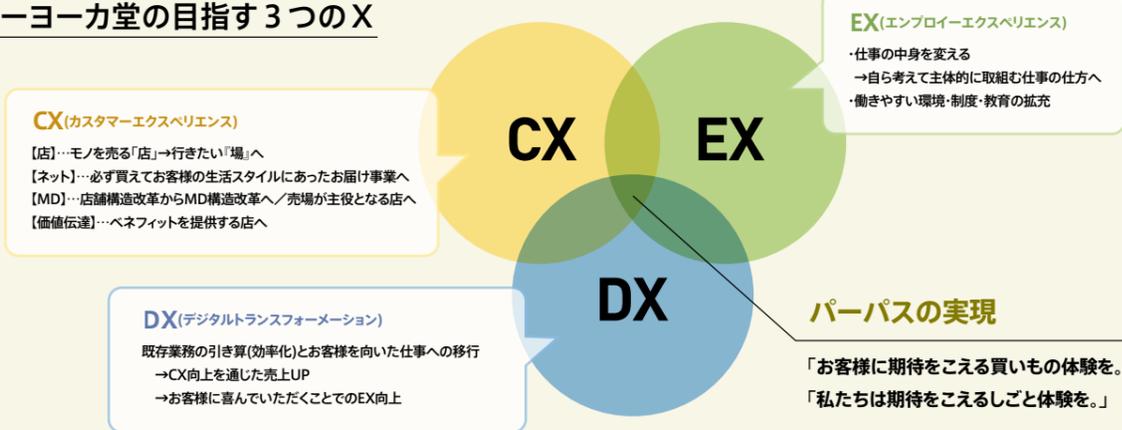


第53回定期中央大会の開会を心よりお慶び申し上げます。業務多忙の中、組合員を代表して組合活動を推進していただいている組合役員の皆様にご心より敬意を表します。また、今大会をもって勇退される組合役員の皆様におかれましては、長く労働組合のリーダーとして、組織をけん引されたご功績とご尽力に感謝申し上げます。

現在、イトーヨーカ堂を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いており、新型コロナウイルス感染症がまだ終息しない中、原油価格の高騰、急激な円安の進行、物価高によるインフレの進行、地球温暖化にともなう台風や地震を含めた気候変動といった大きなリスクがますます高まっています。こういった環境においてイトーヨーカ堂は「3つのX」の取り組みを進めながら、イトーヨーカ堂の組織文化、組織風土を変えていきたいと考えています。イトーヨーカ堂のパーパスは、「お客様に期待をこえる買いもの体験」を実現させること、「私たちは期待をこえるしごと体験」を実現させることです。先行きが不透明な中でも、企業が成長していくために一番大切なことは、「一人ひとりが失敗を恐れずに新しいことにチャレンジしていくこと」です。一人ひとりが自分の意見をだし、それを実現させ、その中で、自己成長につなげることができる会社にしていきたいと考えています。

長年にわたって健全な労使関係を築くことができたのは、継続的な労使による対話と協議によるものだと思っており、さらなる成長を進めていくためにも、組合員の皆様にはこれまで以上のご協力をお願いいたします。

イトーヨーカ堂の目指す3つのX



「CX」…カスタマーエクスペリエンス(顧客体験)

従来の「モノ」を中心とした商売から、お客様が商品を通じて、得られる時間、空間、体験といった「ベネフィット」を提供していくための価値伝達をより強化し、お客様の満足度の向上を目指します。

「EX」…エンプロイーエクスペリエンス(従業員体験)

お客様に商品を提供する作業を中心とした仕事の中心から、働いている従業員がお客様から「ありがとう」を言われる、感謝されるといった小売業の仕事の一番の喜びを得られるような仕事の中身に変えていきます。

「DX」…デジタルトランスフォーメーション(デジタル変革)

IT、AIを使いながら業務を引き算し、その時間をお客様の来店動機につながる仕事やお客様に喜んでいただける仕事に変えていくことに注力していきます。

一人ひとりの力を結集のもと地方政治に参画し、政策実現の足掛かりとしていこう



中央執行副委員長 佐藤 洋一

我々は、上部団体であるUAゼンセンが掲げる新たな政治ビジョン「政治行動計画1・2・30!」を旗印に、政策実現に向けた足場づくりにも力を入れている。

第26回参議院議員選挙では、「かわい たかのり」参議院議員の再選に加え、流通出身の「堂込 まきこ」参議院議員を茨城より国政へ送り出すことができた。

地方での政策実現の足場づくりに向けて、第20回統一地方選挙(2023年4月施行予定)の戦いが幕を開ける。全国各地に多くの組合員を擁する私たちは、「豊かで不安のない生活」を実現するため地方議員の力が必要である。国政選挙の勢いそのままに、第20回統一地方選挙においても擁立候補者全員の当選をめざし、各地各所での必勝に向けた取り組みを進める。

組合員本人はもとより、家族、友人、知人まで支援の輪を拡げ、後援会活動を率先して展開しよう!そして、UAゼンセンが推薦するすべての組織内・準組織内候補全員の勝利に向けて一人ひとりの力を結集し、政策実現の足掛かりとしていこう!

国民民主党
UAゼンセン組織内参議院議員 川合 孝典 氏

かわいたかのり参議院議員のこれまでの取り組み

2期10年(現在任期中)の議員活動の中で、「悪質クレーム対策推進法」の国会への提出や「休日や夜間保育の拡充」など、流通で働く仲間の政策実現に尽力されています。また、新型コロナウイルス感染症対策についても、田村まみ参議院議員と連携して働く者の立場で現場実態を国会の場で伝え、雇用調整助成金の拡充をはじめとする様々な政策実現を果たしています。

かわいたかのり参議院議員プロフィール

- 生年月日:1964年1月29日(58歳)
- 家族構成:妻、長女 ■趣味:城跡(廃墟)巡り、読書
- 略歴:
- 1987年 立命館大学法学部卒業
- 1987年 帝人株式会社に入社
- 1988年 帝人労働組合 東京支部長
- 2007年 第21回参議院議員選挙初当選
- 2013年 第23回参議院議員選挙次点
- 2016年 第24回参議院議員選挙2期目当選
- 2022年 第26回参議院議員選挙3期目当選



イトーヨーカドー労働組合は「組合員の不安のない、より豊かな暮らしの実現」を目指しています。その実現のためには、労使での協議、取り組みによる企業の発展、労働条件の維持・向上、そして労使で改善・解決できない生活に係わる諸問題を「政治の場」を通じて解決させていくことが重要です。上部団体であるUAゼンセンは「政治活動」の周知・実践に向けた取り組みを進めるとともに、流通部門が掲げる「政治行動計画1・2・30!」※の実現に向けた活動を展開しています。UAゼンセン組織内議員「かわいたかのり」参議院議員と連携強化を図りつつ、活動推進に向けた政治活動の考え方や進め方を確立し、組合員の理解のもと政策実現に向けて取り組んでいます。

※「政治行動計画1・2・30!(イチ・ニ・サン・オー!)とは

UAゼンセン流通部門が掲げる、2031年までに衆議院議員1名、参議院議員2名、地方議員30名の擁立を目標にした行動計画

第7号議案 功労者表彰



中央執行副委員長 宇野 典孝

支部執行委員長及び中央役員として、組合員の先頭にご活躍されたみなさんに敬意を表し、表彰状・記念品が授与されました。

特別功労者表彰【35年】

安藤 愛子(労働組合)

特別功労者表彰【15年】

岩本 昌秀(アリオ市原)
下田 広志(専門店会事務局)
高橋 力也(東村山)
鷹屋敷 一久(セブカルチャーネットワーク)

特別功労者表彰【10年】

鈴木 佳祐(労働組合)
塚田 俊一(上永谷)

特別功労者表彰【5年】

阿部 真由美(青森) 立石 陽(柳津)
荒井 友教(和光) 都築 宏幸
上原 光司(アリオ八尾) (セブン & アイHLDGS. (DX戦略推進))
内山 聡(アリオ加古川) 向原 康範(多摩センター)
甲地 宏樹(草加) 原 宏(春日部)
木村 栄彦(八戸沼館) 東 公久(アリオ橋本)
須能 淳(株ヨーク(湘南台)) 湯浅 奈緒美(アリオ柏)
清水 裕理(川崎) 弓場 哲朗(福住)
庄子 和彦(木場) 依田 栄一(南松本)

功労者表彰【2年】

浅見 大貴(労働組合) 佐久間 理香(竹の塚) 野中 真人(労働組合)
池田 満成(株ヨーク(王子)) 佐々木 直之(横浜別所) 服部 孝幸(食品館埼玉大井)
市川 雅彦(上板橋) 佐藤 賢一(アリオ加古川) 福田 行展(流山)
井出 陽子(南大沢) 白石 生恵(株ヨーク(厚木)) 藤原 麻衣(能見台)
今井 創平(五所川原) 関根 真一(アリオ橋本) 増井 聡(アリオ川口)
鷗川 淳(物流企画開発部) 高橋 政幸(幕張) 渡辺 功(桂台)
大嶋 甲一郎(知多) 谷 正敏(伊勢原)
加藤 勇樹(武蔵小杉駅前) 角田 元気(川崎港町)
木村 剛史(八王子) 中村 久美子(小岩)
桑内 佑太(杉戸プロセスセンター) 野口 弘樹(東大和)



2022年度をもって退任される中央役員から皆さんへのメッセージ



瀧澤 めぐみ

2014年10月 中央執行委員
2020年10月 参与(セブン & アイグループ労働組合連合会事務局次長)

2014年より8年間、労働組合で活動させていただきました。初めの4年間は非専従中央執行委員として、自分や共に働く仲間の職場環境がより良くなる事だけを考えて活動する日々だったと記憶しています。その後のゾーン議長としての2年間は、多くの組合役員・組合員の皆さんと出会い、対話・議論し、労働組合の活動に真摯に向き合った貴重な期間でした。楽しい活動も厳しい活動もありましたが、共に取り組んだ役員や本音で話をしてくれた組合員の皆さんがいたからこそ一所懸命に取り組めたのだと思います。
労働組合の活動を通じて私の成長に一番影響を与えた事は、多くの方との対話と繋がります。自分の見識を広げられるのも、辛い時に励ましてくれるのも、共に喜べるのも、自分と自分ではない多くの人があってこそだと思います。出会ったすべての皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



池田 宜生

2016年10月 中央執行委員

中央執行委員として6年間(専従3年)活動させていただきました。事業所閉鎖の経験を通して「利益を向上させ店舗、雇用を守りたい、より良い職場環境を追求したい」という気持ちから私の組合活動はスタートしました。この6年間特にこだわったことは会社の方針、施策を正しく理解したうえで、現場実態をもとに会社へ組合員の声と改善案を伝え、協議を重ねることでした。課題解決に向けて難しいこともありましたが、皆さんの率直な意見、提案が改善に向けて大きな一歩となりました。
今年度は組織改革プロジェクトのリーダーとして皆さんのご理解をいただきながら支部役員選挙や支部集会、IYユニオンカレッジなど新たな取り組みに挑戦しました。1つ1つの活動には主旨目的や歴史があり、活動への参加・参画とコミュニケーションの積み重ねが組織基盤を構築していくと考えています。組合活動を通して組合活動は人と人とのつながり、助け合いによって成り立っていると改めて実感すると共に労働組合で得た経験、出会いは私にとって大きな財産です。多くの方のご協力いただいた中で活動を推進できたことに改めて御礼を申し上げます。「職場環境をより良くしたい、未来に向けて会社を成長、発展させたい」という想いは労働組合も会社も変わりません。組合活動で得られた経験、人とのつながりをこれからも大切にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



浅見 大貴

2020年 2月 上板橋支部
支部代表委員長
2020年10月 中央執行委員

2020年に当時所属していた上板橋支部で支部代表委員長を務めて以降、その後、中央執行委員として約2年間、組合活動に取り組んでまいりました。
中央執行委員としては、京葉常磐ゾーンを担当させていただき、組合役員の皆さんを中心に多くの方々と交流する機会を得ることが出来ました。コロナ禍ということもあり、活動を進めるうえで難しさや戸惑いを感じることもありました。そのような環境下でもいろいろな考えやご意見を皆さんからいただいたながら、連携して活動に取り組んでこられたことは、今後の人生においても大きな糧になったと感じています。
今大会をもって中央執行委員を退任いたしますが、お世話になった方々への感謝を忘れることなく、これまでの経験を礎に新たな場所で頑張っていこうと思います。これまで本当にありがとうございました。



南原 貴志

2000年 2月 大井町支部
支部代表委員長
2002年 3月 ブロック長
2006年 3月 中央執行委員

日々の組合活動へのご理解、ありがとうございます。
在任中は皆さまのご協力により、自身の成長と目標達成に向けた活動を進める事ができました。また、活動を通して組合員の皆さまと会話する機会もあり、ご指導ご鞭撻をいただき感謝しております。おかげ様で長年、組合活動を遂行することができたのだと思っています。
立場は変わりますが、組合活動を通して得た事を「一支部一組合の確立」に向けて頑張っ参ります。今までありがとうございました。また、今後も宜しくお願いいたします。



佐保田 親徳

2011年10月 中央執行委員

2011年に入社した2年目の担当者という立場で中央執行委員に立候補してから、12年間活動させていただきました。
組合活動を通じた様々な経験・様々な人との出会いは自分自身の大きな財産となり、組合活動のみならず自分の人生においても大きな影響を与えてくれました。
私は今期をもって中央執行委員という役割から退きますが、これからは一組合員という立場で、組合組織が一丸となり、労使相互による信頼関係のもと、組合員一人ひとりが誇りとやりがいを持って、「前向き」に「安心して」働くことができる職場環境を実現できるよう、微力ながら携わらせていただきたいと思います。
最後にこれまでの12年間、本当にありがとうございました。



佐藤 公則

2005年 2月 沼津支部
支部代表委員長
2009年 3月 ブロック長
2010年 9月 札幌支部
支部代表委員長
2011年 9月 ブロック長
2013年10月 中央執行委員

2005年から沼津支部の支部代表委員長として労働組合に関わり、その後北関東・北海道中央ブロック長として、また2013年10月には中央執行委員として活動してまいりました。長期にわたり、組合活動を行うことができたのも、皆さんの協力や支えがあったからだと思っています。長い間本当にありがとうございました。
これまで活動を通して色々な方々と出会い、また一緒に参加・参画できたことで、人と人とのつながりの大きさを感じ、たくさんの方を学ばせていただきました。一人ひとりの力が小さくても、大勢の方々と協力しあひ1つのイベントを成功できた事など、今思えば、仕事だけでは経験できないようなことが多かったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
最後にはなりますが、組合活動を通じて本当に勉強・経験をさせていただきました。次のステージでも、できることをしっかり行い、諦めない気持ちで頑張っ参りたいと思います。これまで、本当にありがとうございました。



大橋 憲二

2011年 7月 竜ヶ崎支部
支部代表委員長
2013年 3月 ブロック長
2014年10月 中央執行委員

支部代表委員長、ブロック長、中央執行委員として、組合活動を11年間経験させていただきました。
活動を通じて、多くの人との出会いやつながりを持ってた事や、会議や研修会により知識、見識を身に付けられたりと、自分自身の大きな財産となりました。
また、これまでたくさんの方に支えられ、助けていただいたうえで活動ができたことに感謝申し上げます。
11年間、思い返せばいろいろなことがありましたが、「同じやるなら楽しんでやろう」と思い、続けてきました。今後は一組合員として活動に楽しんで参加していこうと思います。これまでありがとうございました。



小松原 勇二

2018年 2月 武蔵境支部
支部代表委員長
2018年10月 ブロック長
2019年 3月 中央執行委員

今年度ももちまして中央執行委員を退任させていただくことになりました。
中央執行委員として在任中は、支部の皆さまをはじめ、多くの方々に助けていただき活動することができました。心より感謝を申し上げます。
中央執行委員として立候補する前に「活動を通じた人とのつながりが必ず自分の財産になる」と言われたことを思い出します。実際に活動していく中で、中央執行委員でなければ関わりを持つことができなかつたかもしれない方々と多く交流させていただく事で、様々な経験につながり、私にとって大きな財産となりました。
退任後はこれまでと立場が変わりますが、今までの経験を活かし、様々な課題に労使一丸となって取り組んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。



坂井 剛

2016年 9月 川崎港町支部
支部代表委員長
2018年 3月 ブロック長
2018年10月 中央執行委員

支部代表委員長、ブロック長を経て中央執行委員として4年間組合活動に参加、参画させていただきました。組合活動を通して、様々な経験、多くの会議の中で議論したことや研修会などで学んだ知識、たくさんの方との出会いは、大きな財産になりました。
組合活動の中で、ブロック長時代に「フェスタ」を開催したことが思い出です。各支部の役員たちと企画から実施まで大変さを痛感し、無事に開催できたことに皆で喜びを共感できました。
今までたくさんの方々に支えられ様々な活動に取り組めたことに感謝申し上げます。今年度ももちまして退任しますが、今後は一組合員として、支部活動に参画していきたいと思っています。今までありがとうございました。



新岡 啓通

2018年 9月 藤沢支部
支部代表委員長
2019年10月 中央執行委員

私は、藤沢支部の支部代表委員長から2020年度に中央執行委員に立候補し、そこから3年間お世話になりました。当時は、労働組合の活動もよく分からず、先輩中央執行委員の方々にはご迷惑をお掛けしたかと思えます。中央執行委員として3年間、活動させていただき感じたことは、会社と労働組合との間でさまざまな会議や意見交換の場が設けられていることや、多くの政治活動に取り組んでいるということです。
中央執行委員になり、多くの人と出会い、活動をともに推進していく中でさまざまな経験をさせていただきました。特に、各支部の支部執行委員長の活動や組合員への「熱い思い」には感動させられることもありました。今後は、中央執行委員という役割からは外れますが、一組合員として皆さまと同じように「熱い思い」を持って、組合活動に関わっていければと思います。新型コロナウイルス感染症など、さまざまな環境変化があり、大変な時代ですが組合員全員で協力しあひ、IY再生に向けて頑張っ参ります。3年間ありがとうございました。

第3号議案 2023年度中央役員選出

中央執行委員長

渡邊 健志 労働組合(専従)

中央執行副委員長

佐藤 洋一 労働組合(専従)

宇野 典孝 労働組合(専従)

中央執行書記長兼中央会計

竹内 宏子 労働組合(専従)

中央執行書記次長

鈴木 佳祐 労働組合(専従)



中央選挙管理委員長 営業・管理支部
高木 政博

中央執行委員(五十音順)

阿部 真由美 青森(子供ワールドM)
安部 喜雄 ライフスタイル(衣料雑貨部S V)
井口 隆之 北砂(グロサリーM)
稲垣 裕美 甲子園(S C C・C H M)
今満 直樹 食品(デリカ部惣菜担当S V)
岩本 昌秀 市原(催事担当)
上中 瑠英 ライフスタイル(ライフスタイル業務部担当)
上前 瑛 南大沢(マルシェM)
鶴川 淳 物流(物流企画開発部M)
薄井 傑 札幌(デリカ(惣菜)担当チーフ)
内山 聡 加古川(デリカM)
開発 真住 琴似(C H M)
金井 啓悟 食品(デリカ部デパート担当S V)
鎌田 理佳子 押島(グロサリーM)
川口 妙子 伊勢原(グロサリーM)
川名 将平 横浜別所(グロサリーM)
幸坂 俊昭 鷺宮(食品統括M)
坂 うらら 労働組合(専従)
佐久間 和正 大宮宮原(生活雑貨M)
佐藤 誠 安城(子供ワールドM)
嶋田 千尋 西川口(マルシェ(鮮魚)担当チーフ)
白石 生恵 セブン&アイ(ヨーク厚木店デパートM)

鈴木 康生 川口(商品管理M)
関 洋亮 労働組合(専従)
高橋 洸貴 食品(グロサリー部MD)
武 美由喜 立場(シスター)
田中 大樹 労働組合(専従)
内藤 証 労働組合(専従)
二宮 崇 ライフスタイル(子供ワールド部MD)
野中 真人 労働組合(専従)
橋本 友 セブン&アイ(セブンカードサービス担当)
服部 正之 大森(商品管理M)
平山 孝司 セブン&アイ(ヨーク加食雑貨T R)
福井 裕二 相模原(食品統括M)
丸山 亮人 労働組合(専従)
道副 友輔 ライフスタイル(生活雑貨部MD)
毛頭 佳子 明石(シスター)
森島 泰彦 蘇我(マルシェM)
吉田 貴多美 我孫子(C H M)

中央会計監査

下田 広志 専門店(専門店会事務局)
鷹屋敷 一久 セブン&アイ(セブンカルチャーネットワークM)

※所属支部・役職名は10月5日時点

第4号議案 上部団体役員の内任

組合規約第32条第1項に基づき、上部団体役員の内任の承認決議を諮る。

《セブン&アイグループ労働組合連合会 役員》

氏名	役職
渡邊 健志	セブン&アイグループ労働組合連合会 会長
竹内 宏子	セブン&アイグループ労働組合連合会 中央執行委員
鈴木 佳祐	セブン&アイグループ労働組合連合会 中央会計監査

第5号議案 参与の任命

組合規約第32条第3項に基づき、参与の任命の承認決議を諮る。



松川 将也

U Aゼンセン
流通部門
執行委員



小鷲 良平

セブン&アイグループ
労働組合連合会
事務局局長



中川 勇樹

セブン&アイグループ
労働組合連合会
事務局次長

組合員の皆さんへ

ゾーン議長より メッセージ



北海道東北ゾーン議長
田中 大樹

コロナ禍で組合員同士の接点が少なくなっている今、同じ時間・場所を共有し、「労働組合らしさ」を感じられる活動を大切に組み立てていきます。

また、組合員の声や現場実態を基に挙がる問題・課題の改善・解決をめざし、あらゆる場面での対話を通じ、具体的な改善策についての議論・提案をしていきます。

働きやすく、やりがいのある職場環境を創ることがお客様への最高のサービスにつながり、結果として1Y再建につながると考えています。明るい未来を共に切り拓いていきましょう。



京葉常磐ゾーン議長
内藤 証

日々、私たちを取り巻く環境が大きく変化し、先行きの見えない時代の中、組合活動においても変化が求められています。

労働組合として、従来の「会話」「対話」を大切にしながら、「新たなコミュニケーション機会」の創出や現在の進む多様性に対応できる活動に取り組み、組合員の参加・参画につなげてまいります。

「働きやすい職場環境」「やりがいのある職場環境」「楽しい職場環境」を目指して、共に未来を創っていきましょう。今年度も皆さまの組合活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



東武埼京ゾーン議長
野中 真人

今年度から、東武埼京ゾーン議長を担当いたします。私たちを取り巻く環境は日々変化しており、過去からの経験だけでは判断のしづらい環境となっております。これらの変化に対応するためには私たち組合員一人ひとりが声を挙げ、過去からの固定観念から脱却し、「未来について対話」していかなければなりません。対話の充実を図り、労使一和で取り組んでいきましょう。



東海京浜ゾーン議長
丸山 亮人

活動の基本姿勢として「問題意識を持った活動」、「魅力や価値を生み出す活動」、「組合員に近づく活動」の3つを心掛けて活動に取り組みます。

環境変化を正しく捉え、変化へ対応し、働きがいを感じることが出来る職場環境を目指します。組合員一人ひとりの「会話と対話」を大切に、ゾーン執行部一同責任を持って取り組みます。未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていきましょう。



多摩武蔵ゾーン議長
関 洋亮

不確実性の時代の中で、労働組合、組合活動も変化を求められています。今年度のスローガンである「未来思考の対話を通じて、より良い未来(あす)を創っていこう」を実現するためには、今以上に組合員同士や労使での協議、対話が重要です。

今置かれている環境を正しく認識し、この難局を皆で乗り越えましょう!



中京関西ゾーン議長
坂 うらら

私たちを取り巻く環境が大きく変化しており、この難局を乗り越えていくためには、労使一和となった、未来思考の対話をしていく必要があります。

今まで以上にコミュニケーションを密にし、一つひとつの活動に対する理解度を深められるように、「何のために」「誰のために」という視点を見失うことなく、取り組んでまいります。私たち一人ひとりが固定観念から脱却し、「組合員の幸せ実現」を目指して、一緒に取り組んでいきましょう。



本部ゾーン議長
鈴木 佳祐

2023年度は、環境変化に対応した組織や活動を構築し、企業別労働組合として働きやすく、働きがいのある職場をめざして取り組んで参ります。労働組合の活動目的は「雇用の確保」「労働条件の維持・向上」であり、活動一つひとつに必ず意味があります。本部ゾーンの仲間と共に事業部・部門単位の課題を丁寧に確認し、未来思考の対話を通じて魅力ある職場環境にしていきたいと思います。私たち一人ひとりが活動に参画することが大切です。



Web!SANKA! はこちら!

ログインID・パスワードがわからない方は組合役員にご確認ください
<https://7ir-iy.com/>